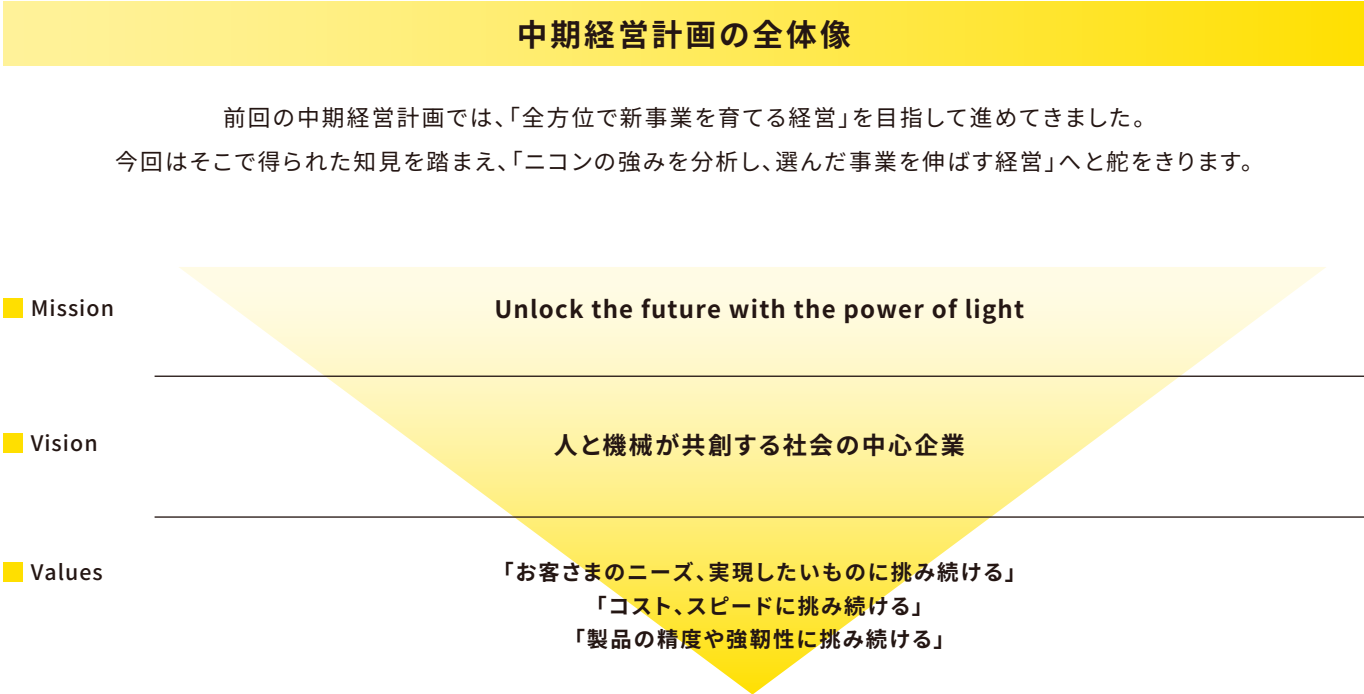


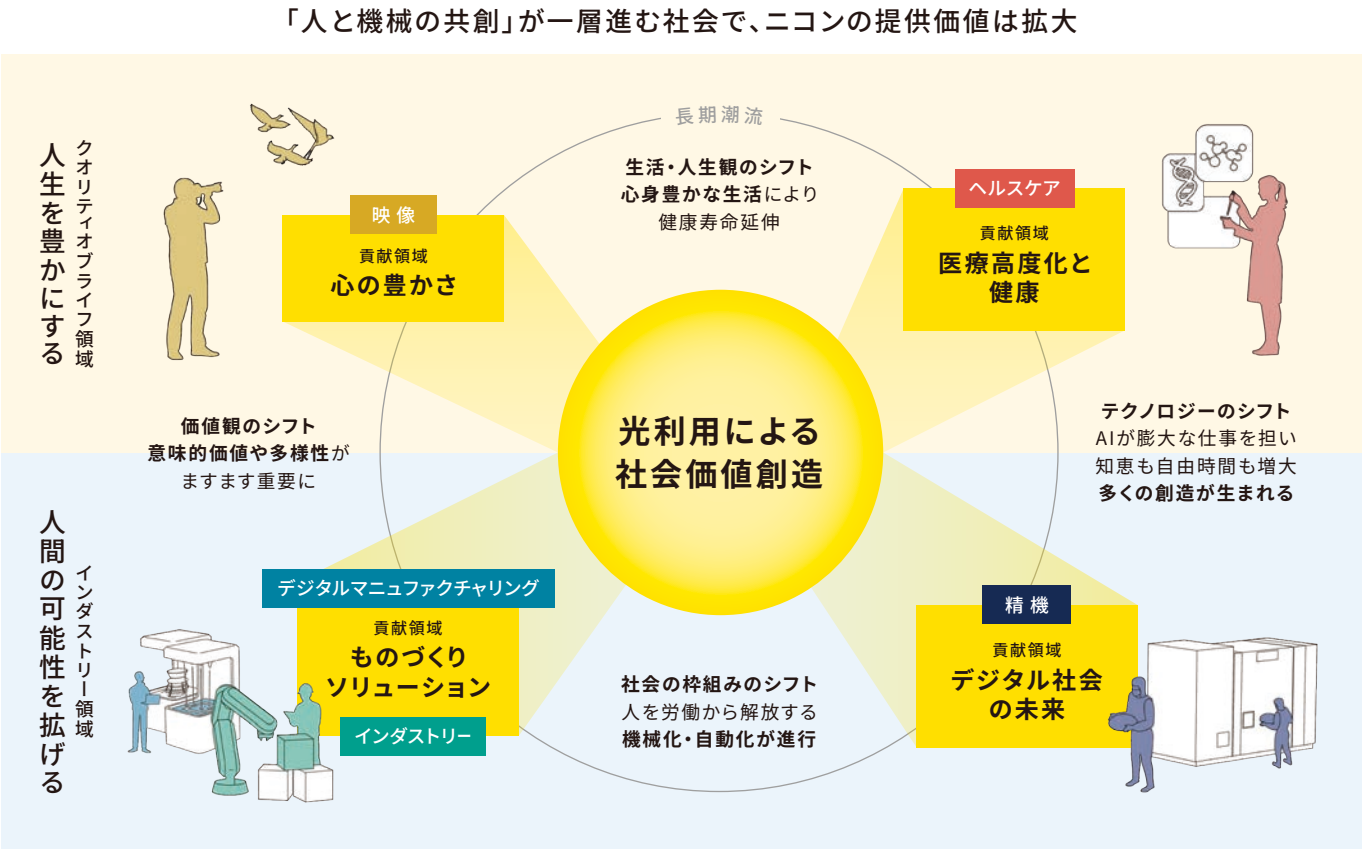
ニコンはVisionとして「人と機械が共創する社会の中心企業」を掲げ、その実現に向かう第2フェーズとして2026-2030年度を対象とする中期経営計画を策定しました。本計画では中長期的な展望として、10年後の2035年までの経営環境の変化や事業戦略、長期潮流や社会ニーズの変化などを踏まえたうえで、バックキャストで2030年の目標を設定しました。この計画に沿った取り組みにより、企業価値の持続的な向上を目指します。



2030年度 数値目標	売上収益	営業利益	全社ROIC	ROE
	1兆円	800億円	7%	10%

長期潮流とニコンの貢献領域

前回の中期経営計画で描いた長期潮流、いわゆるメガトレンドは想定以上のスピードで変化しています。人と機械の共創が一層進み、活躍できるフィールドが広がったいま、ニコンは大きく4つの領域で社会に貢献していきます。



事業ポートフォリオ

長期潮流やニコンの経営環境、各ビジネスの状況を踏まえ、事業ポートフォリオを再定義しました。映像、ヘルスケア、インダストリーで創出するキャッシュを、デジタルマニュファクチャリングと精機に投入し、2030年以降の本格的成長を目指します。バランスシート・キャッシュコントロールを重視しながら、特に「デジタルシネマカメラ」「大型金属3Dプリンター」「ArF液浸露光装置・デジタル露光装置」の3つの分野に注力していきます。

主たる 役割	事業領域	ビジネス内容		ターゲット市場						2026年度 売上計画 (億円)	2030年度 売上計画 (億円)
				QOL領域		産業領域					
		コア	成長 (太字は注力分野)	クリエイター	創薬/医薬	防衛	航空/宇宙	自動車/ エネルギー	半導体/ 電子部品		
安定利益 創出	 映像	ミラーレスカメラ 双眼鏡/距離計	デジタル シネマカメラ							3,030	3,800 ⬆ +25%
	 ヘルスケア	ライフサイエンス アイケア	細胞受託生産							1,270	1,500 ⬆ +18%
キャッシュ 投入	 インダストリー	光学コンポーネント ^{*1} 画像測定システム 工業用顕微鏡、特注機器	X線/CT検査装置 レーザーレーダ ロボティクス関連							840	1,100 ⬆ +31%
	 デジタル マニュファクチャリング	—	大型金属 3Dプリンター							340	700 ⬆ +106%
企業価値 最大化 に挑戦	 精機	FPD露光装置 半導体測定/計測/検査 サービス	半導体露光装置 デジタル露光装置							1,880	2,900 ⬆ +54%
										7,400 ^{*2}	10,000 ⬆ +35%

*1 光学素材・部品、EUV関連コンポーネント、フォトマスク基板、産業用光学レンズ・ユニットなどを含む *2 2026年度売上にはその他40億円が別途含まれる